

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月5日

上場会社名 株式会社秋川牧園 上場取引所 東
 コード番号 1380 URL http://www.akikawabokuen.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋川 正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 原田 良人 TEL 083-929-0630
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,700	3.7	△11	—	△2	—	△22	—
30年3月期第2四半期	2,605	1.2	11	△82.9	42	△42.7	21	△57.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1百万円 (△95.2%) 30年3月期第2四半期 23百万円 (△54.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△5.40	—
30年3月期第2四半期	5.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	4,922	1,554	31.6	372.72
30年3月期	5,036	1,573	31.3	377.50

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 1,553百万円 30年3月期 1,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	2.7	82	△9.6	105	△18.1	65	△23.9	15.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	4,179,000株	30年3月期	4,179,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	9,877株	30年3月期	9,822株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	4,169,156株	30年3月期2Q	4,169,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調で推移してまいりました。一方で、人手不足の深刻化や原油価格の高騰、米中間の貿易摩擦の激化の懸念等から、先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、個人消費が伸び悩むなど依然として厳しい環境にありますが、高齢化が進む中での健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は年々高くなっております。

このような状況の中、直販事業では通販事業を行う会社向けの販売の減少があったものの、生産卸売事業の主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売が好調に推移したことから、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、上記の売上高の増加がありましたが、飼料価格の値上がりや、若鶏の生産成績の低下、間接部門の販売費及び一般管理費の増加等により減益となりました。(なお、若鶏の生産成績については、直近ではすでに持ち直しており、好調な状況が続いています。)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、27億円(前年同期比3.7%増)、営業損失は11百万円(前年同期は11百万円の利益)、経常損失は2百万円(前年同期は42百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は22百万円(前年同期は21百万円の利益)となりました。

なお、当社グループの売上は鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向があり、当期につきましてもその形で推移するものと見込んでおります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が好調に推移したため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、売上高の増加がありましたが、飼料価格の値上がりや、若鶏の生産成績の低下、営業経費などの販売費および一般管理費の増加により減益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、21億94百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は1億61百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

(直販事業)

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の販売が首都圏を中心に増加したものの、通販事業を行う会社向けの販売が大幅に減少したことにより売上高は減少いたしました。利益面につきましては、売上高の減少や、直売店のリニューアル費用、会員募集費などの販売費及び一般管理費の増加により、減益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、5億5百万円(前年同期比11.9%減)、営業損失は16百万円(前年同期は3百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億13百万円減少し、49億22百万円となりました。これは主に、現金及び預金が95百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、33億68百万円となりました。これは主に長期借入金金が79百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、15億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、売上高は当初の予想どおりに推移する見込みであります。

利益面につきましては、上半期の業績の下振れ要因に加えて、若鶏の生産成績の低下の影響が決算期のずれにより下半期の一部にも残ること、また鶏肉の原材料在庫の増加などにより、未実現利益の控除額の増加が見込まれることから、当初予想を下回る見込みであります。

詳細につきましては、本日(平成30年11月5日)公表いたしました「平成31年3月期第2四半期(累計)業績予想と実績との差及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	624,482	528,895
受取手形及び売掛金	646,760	670,080
商品及び製品	164,844	126,706
仕掛品	346,719	404,831
原材料及び貯蔵品	94,073	76,309
未収入金	135,394	117,774
その他	60,531	22,407
貸倒引当金	△1,436	△628
流動資産合計	2,071,370	1,946,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,049,584	1,101,928
機械装置及び運搬具（純額）	480,221	460,565
土地	1,012,142	1,014,642
建設仮勘定	90,569	46,222
その他（純額）	95,259	107,409
有形固定資産合計	2,727,778	2,730,768
無形固定資産		
のれん	27,058	25,234
その他	39,376	33,072
無形固定資産合計	66,434	58,306
投資その他の資産	170,815	187,517
固定資産合計	2,965,028	2,976,593
資産合計	5,036,398	4,922,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	454,876	403,443
短期借入金	1,026,939	1,064,770
リース債務	4,712	5,584
未払法人税等	27,189	9,367
賞与引当金	35,152	52,964
その他	309,740	299,467
流動負債合計	1,858,610	1,835,597
固定負債		
長期借入金	1,279,097	1,199,759
リース債務	21,646	26,608

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
繰延税金負債	9,593	10,852
退職給付に係る負債	239,139	239,714
役員退職慰労引当金	54,356	56,267
固定負債合計	1,603,833	1,533,201
負債合計	3,462,443	3,368,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	553,441	553,441
利益剰余金	274,959	231,579
自己株式	△5,839	△5,880
株主資本合計	1,536,711	1,493,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,162	60,643
その他の包括利益累計額合計	37,162	60,643
非支配株主持分	80	237
純資産合計	1,573,955	1,554,171
負債純資産合計	5,036,398	4,922,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,605,231	2,700,854
売上原価	1,953,559	2,062,365
売上総利益	651,672	638,488
販売費及び一般管理費	639,733	649,892
営業利益又は営業損失(△)	11,939	△11,403
営業外収益		
受取利息	57	70
受取配当金	531	700
補填金収入	9,356	7,250
補助金収入	2,210	3,205
保険返戻金	18,111	—
その他	5,903	3,815
営業外収益合計	36,170	15,042
営業外費用		
支払利息	5,775	6,560
その他	18	0
営業外費用合計	5,793	6,560
経常利益又は経常損失(△)	42,315	△2,921
特別利益		
固定資産売却益	705	1,454
補助金収入	—	47,000
特別利益合計	705	48,454
特別損失		
固定資産売却損	931	—
固定資産除却損	3,253	150
固定資産圧縮損	—	47,000
特別損失合計	4,184	47,150
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,835	△1,616
法人税、住民税及び事業税	15,049	2,856
法人税等調整額	2,256	17,903
法人税等合計	17,306	20,760
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,529	△22,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	281	156
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,247	△22,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,529	△22,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,663	23,480
その他の包括利益合計	1,663	23,480
四半期包括利益	23,192	1,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,911	947
非支配株主に係る四半期包括利益	281	156

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,835	△1,616
減価償却費	162,853	176,518
のれん償却額	1,824	1,824
貸倒引当金の増減額(△は減少)	158	△862
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,486	17,812
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,930	574
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,574	1,911
受取利息及び受取配当金	△588	△771
支払利息	5,775	6,560
有形固定資産売却損益(△は益)	226	△1,454
有形固定資産除却損	3,253	150
売上債権の増減額(△は増加)	△12,245	△23,320
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175,083	△471
未収入金の増減額(△は増加)	△14,955	17,620
仕入債務の増減額(△は減少)	14,689	△51,432
補助金収入	—	△47,000
固定資産圧縮損	—	47,000
その他	△12,406	18,992
小計	45,328	162,033
利息及び配当金の受取額	588	771
利息の支払額	△5,596	△6,540
補助金の受取額	—	47,000
法人税等の支払額	△34,952	△13,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,367	190,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△429,470	△224,860
有形固定資産の売却による収入	2,917	2,449
投資有価証券の取得による支出	—	△8
貸付けによる支出	△410	△150
貸付金の回収による収入	2,622	1,858
ソフトウェアの取得による支出	△2,623	△100
その他	1,824	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425,139	△220,687

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	306,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△96,622	△141,507
配当金の支払額	△20,643	△20,609
リース債務の返済による支出	△5,038	△3,259
自己株式の取得による支出	△1,244	△41
その他	—	453
財務活動によるキャッシュ・フロー	182,452	△64,963
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△237,319	△95,586
現金及び現金同等物の期首残高	819,083	624,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	581,763	528,895

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	2,031,071	574,160	2,605,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	160,978	1,399	162,377
計	2,192,049	575,559	2,767,609
セグメント利益	171,956	3,302	175,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,259
のれんの償却額	△1,824
全社費用(注)	△161,496
四半期連結損益計算書の営業利益	11,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	2,194,906	505,947	2,700,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	158,809	3,030	161,839
計	2,353,715	508,978	2,862,693
セグメント利益又は損失 (△)	161,806	△16,918	144,888

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	144,888
のれんの償却額	△1,824
全社費用(注)	△154,467
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△11,403

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。